

米づくり情報 第9号

令和2年8月27日

平坦部(佐賀県農業試験研究センター)

本年産水稻の生育状況(8月27日)

移植日	項目		草丈 cm	茎数 本/m ²	葉齢 L	概況
	品種	年次				
6月18日	夢しずく	本年	出穂期:8月20日		14.0 (止葉葉位)	気象 :8月20日~26日の気象を 平年値と比較すると、気温は 2.3℃高く、日照時間は114%、降水 量は0%であった。 生育 :平年値と比較すると 【草丈】 「さがびより」、「ヒヨクモチ」ともに やや高い。 【茎数】 「さがびより」は平年並み。「ヒヨク モチ」はやや多い。 【葉齢】 「さがびより」はやや進んでいる。 「ヒヨクモチ」はやや遅れている。
		平年	出穂期:8月17日		13.6 (止葉葉位)	
	平年比(差)		平年より3日遅い		+0.4	
	ヒノヒカリ	本年	出穂期:8月26日		14.0 (止葉葉位)	
平年		出穂期:8月27日		14.4 (止葉葉位)		
平年比(差)		平年より1日早い		-0.4		
6月19日	さがびより	本年	96.0	434	15.4 (止葉葉位)	
		平年	93.3	431	15.1 (止葉葉位)	
	平年比(差)		103	101	+0.3	
	ヒヨクモチ	本年	81.3	560	15.6	
平年		79.7	532	15.9		
平年比(差)		102	105	-0.3		
留意点	○出穂期前後は水不足とならないように注意する。出穂後は間断かん水を行ない、根の活力維持を図る。 ○本年は、トビイロウンカの発生予察警報(8/20)が発出されている。必ず圃場での発生状況を確認したうえで、本虫の幼虫ふ化揃い期に薬剤防除を実施する。 ○その他、コブノメイガ・斑点米カメムシ・紋枯病も多くなる予想なので、発生状況に注意し適正に防除を行う。					

注)「夢しずく」、「ヒノヒカリ」は、6月18日移植の稚苗(播種期5/25、播種量 湿粳 180g/箱)
 「さがびより」、「ヒヨクモチ」は、6月19日移植の稚苗(播種期5/26 播種量 湿粳 180g/箱)
 ・栽植密度:「夢しずく」は、条間30cm×株間17cm、19.6株/m²(65株/坪)
 「さがびより」は、条間30cm×株間20cm、16.7株/m²(55株/坪)
 「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は、条間30cm×株間15cm、22.2株/m²(73株/坪)
 ・栽培管理:施肥法は県基準に準じ、防除他はセンターの慣行による。
 ・概況欄の生育の平年値との比較については、以下のように定義している。
 低い(少ない、遅れている):94以下、やや低い(やや少ない、やや遅れている):95~98、平年並み:99~101、やや高い(やや多い、やや進んでいる):102~105、高い(多い、進んでいる):106以上
 ※平年値は、過去7カ年(平成25~令和元年)の数値の最高と最低を除いた5カ年の平均値。

【窒素の時期別施用量(N kg/10a)】

品種	基肥	中追	穂肥Ⅰ	穂肥Ⅱ	実肥
夢しずく	3.0(6/16)	0.0	2.0(8/3)	—	—
ヒノヒカリ	4.0(6/16)	2.0(7/10)	3.0(8/11)	—	—
さがびより	5.0(6/17)	0.0	2.0(8/17)	—	—
ヒヨクモチ	4.0(6/17)	3.0(7/13)	4.0(8/18)	1.5(8/25)	1.5

※()内の日付は農試作況ほ場における施用日

【幼穂形成始期と出穂期】

品 種	幼穂形成始期		出穂期	
	本 年(平年差)	平 年	本 年(平年差)	平 年
夢しずく	7月31日(+3日)	7月28日	8月20日(+3日)	8月17日
ヒノヒカリ	8月5日(0日)	8月5日	8月26(-1日)	8月27日
さがびより	8月10日(+1日)	8月9日	未	9月1日
ヒヨクモチ	8月15日(+1日)	8月14日	未	9月7日

※8月27日現在

令和2年産 稲作期間気象図
アメダス観測値(佐賀)

農業試験研究センター
作物栽培研究担当

